



ふみだす  
あ

Vol.98

2013年 7月号

ふみだそう、福祉でまちづくり

2か月に一度の会だけ  
ど、気軽に言いたいこ  
とが言えるから次回が  
待ち遠しいよ。



## 茅野男性介護者の会

- 開催日：奇数月(1・3・5・7・9・11月)の第3火曜日
- 時 間：午後1時30分から午後3時
- 会 場：茅野市総合福祉センター ○参加費：無 料
- 問合せ：茅野市社会福祉協議会 地域生活支援係 湯田坂・今井  
(東部保健福祉サービスセンター内)  
電話 82-1521 (お気軽にお電話ください!)

介護は中々先を見通すことが難しいため不安が多い  
ものです。  
同じ立場の人達が集まって話をすることでほっとしたり、新たな知恵をもらったり…。

男同士、時には愚痴を言い合いながら和気あいあいと語り合いつつじで、新たな気持ちで介護に向き合えるきつかけづくりの場になっています。

五月二十一日茅野男性介護者の会に出席しました。五年前に九名で発足。現在は会員十五名で定例会には毎回半数の方が出席とのこと。会員の皆さんと和気あいあいの会話を紹介します。

「介護は手を抜けることは抜かない」と大変と言われるが、手の抜き方がわからない」

「調子の良い時、悪い時があるので気持ちを切り替えるのが大変」

「男の料理は味はうまいが、原価計算しないので金がかかること間がかかる」「掃除は要領が悪いので一日かかるつてしまつ」

「ボタン付けや簡単なほのろびの直し方がわからぬ」

会員の皆さんと介護の大変さを明るく、時には笑いも入り、お互いに本音で和やかに語り合われ、今年の定例会の内容がまとまりました。

○ケアマネージャーと気軽に話し合う集い

○手軽に出来るおかずの作り方

○簡単にできる裁縫

○年一回酒を酌み交わしながら語る集い「随时入会できますので、当事者の方お互いに語り合ひ、リフレッシュしましょ」と会長の河西さんのメッセージです。

会員の皆さんとの団結のない笑顔での語り口に心が和みました。慣れない介護や家事に戸惑っている男性には、心強い仲間となるでしょう。



# 支えあえる地域づくりのために

～まずは地域の声を聞いてみる～

前号に続き、「福祉推進委員として何から始めたらいいのかわからないなあ」などの声への一つのヒントとなることを願い、今号では城山区の福祉推進委員による働きかけから始まった地域の支え合い“城山お助け隊”的取組みをご紹介します。

## ◆城山区～お助け隊～

### 《経過》

城山区は、ちの地区の中でも山手にある団地で坂もきついため、歩いて国道に出るのも困難な地域です。一番困っているのが「足の問題」。特に買物や通院に高齢者は困っていました。福祉推進委員ができた当初に実施した区民へのアンケート結果からも、「足の問題」「資源物の分別」に不便や不安を感じているとの声があり、資源物の分別収集は隣組の助け合いによる体制作りをしてお願いできるようになりました。また、足の問題を解決するため福祉推進委員が中心となって会議を重ね「城山買物お助け隊」が発足しました。

当初は買物でしたが、現在は通院が中心となり、月に13～15回の利用があります。車利用の為の決まり事や利用金額等は定めています。長野運輸局に問い合わせた結果、ガソリン代に加え社会通念上の謝礼であれば、白タク行為とはならないと確認済みです。利用会員と協力会員は登録制で予約を入れてからの利用になります。



### 《活動内容》

1. 城山区の住民で、利用会員登録している方が外出をする際の外出支援。当初は買物支援でしたが、要望により現在は通院支援が中心になっています。年間で150回以上の利用があります。
2. 城山区内の利用会員と協力会員限定で行っており、区民だけで利用者と協力者が成り立っています。
3. 車による移送範囲は諏訪圏内限定で、利用料金は利用者の負担が金銭面も精神面も少なくて済むよう低額にしています。
4. 事務局に予約を入れ、事務局から協力会員に依頼しています。



### 《見えてきた課題》

- ・事務局を会長一人で行っていた為、会長が全ての予約を受け、手配もしており、会長の事務負担が大きくなっています。
- ・協力会員の人数が不足しています。

### 《今後の方向性》

こうした課題から、平成25年度よりグループ制にしてリーダーを置き、予約・手配を分担し、事務局の負担軽減を図っていきたいと思います。合わせて、随時、協力会員を増やしていく予定です。

### お詫び

ややこしく5月号3ページのグリーンヒルズビレッジ自治会の活動の様子を紹介した2枚の写真の位置が逆でした。  
訂正をお詫び申し上げます。

### 『福祉推進委員になったけど、何から始めればいいの?』

：『始まりは、地域の方からの“声”を聴きましょう。』



前号に続き、3つの区・自治会の福祉推進委員さんによる実践例をお伝えしました。3つの事例は、それぞれ内容が異なりますが共通していることがあります。それは、各区・自治会の福祉推進委員の皆さんのがはじめに地域の皆さんからの声を聴いたり、声を集めたりすることから取組みを出発させているということです。

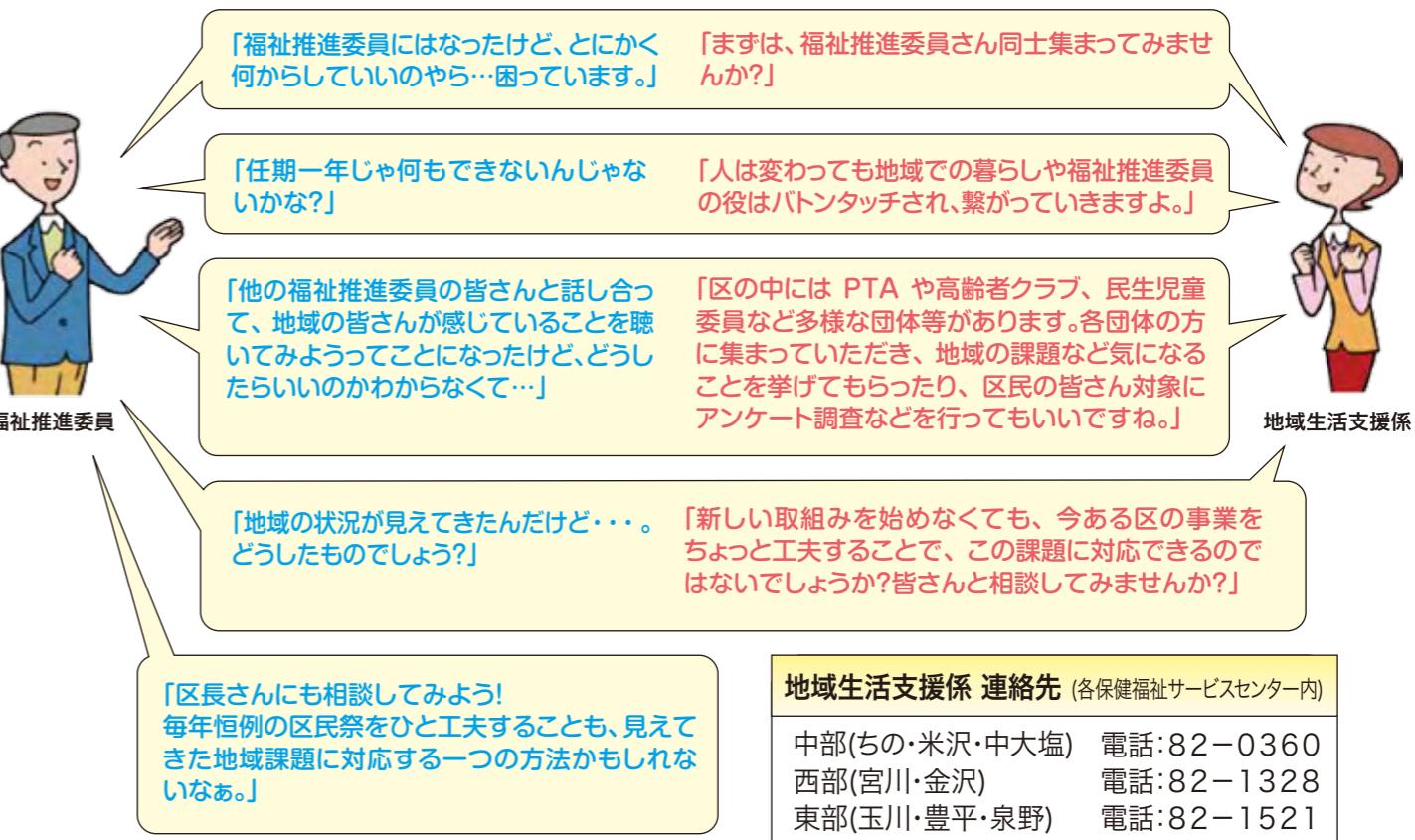
お伝えした3つの事例は大変素敵なお取組みですが、それをそのまま他の区・自治会で展開していただきたい!と紹介したわけではありません。まずは、ご自分の暮らす“地域の生の声”をお聴きいただけたらと思います。

### 『じゃあ、アンケートをとってみればいい?』

：『ちょっと待って。まずは、委員さん同士で自分が暮らす地域のことを知りましょう。』

福祉推進委員さんは各区・自治会に複数名置いていただきたいとお願いしています。ですからまずは一度、各区・自治会の福祉推進委員さん同士顔を合わせ、地域のことを知り合う機会をお持ちいただきたいと思います。そこで、改めて知ること・気付くことがきっとあるはずです。

また、お集まりいただく中で、「困ったな」「どうしたらいいだろう」という場面がありましたら、お気軽に、各保健福祉サービスセンター内にいる社会福祉協議会の地域生活支援係まで声をお掛けください。みなさんと共に考えたいと思っています。地域生活支援係から声を掛けさせていただくこともありますので、よろしくお願ひします。



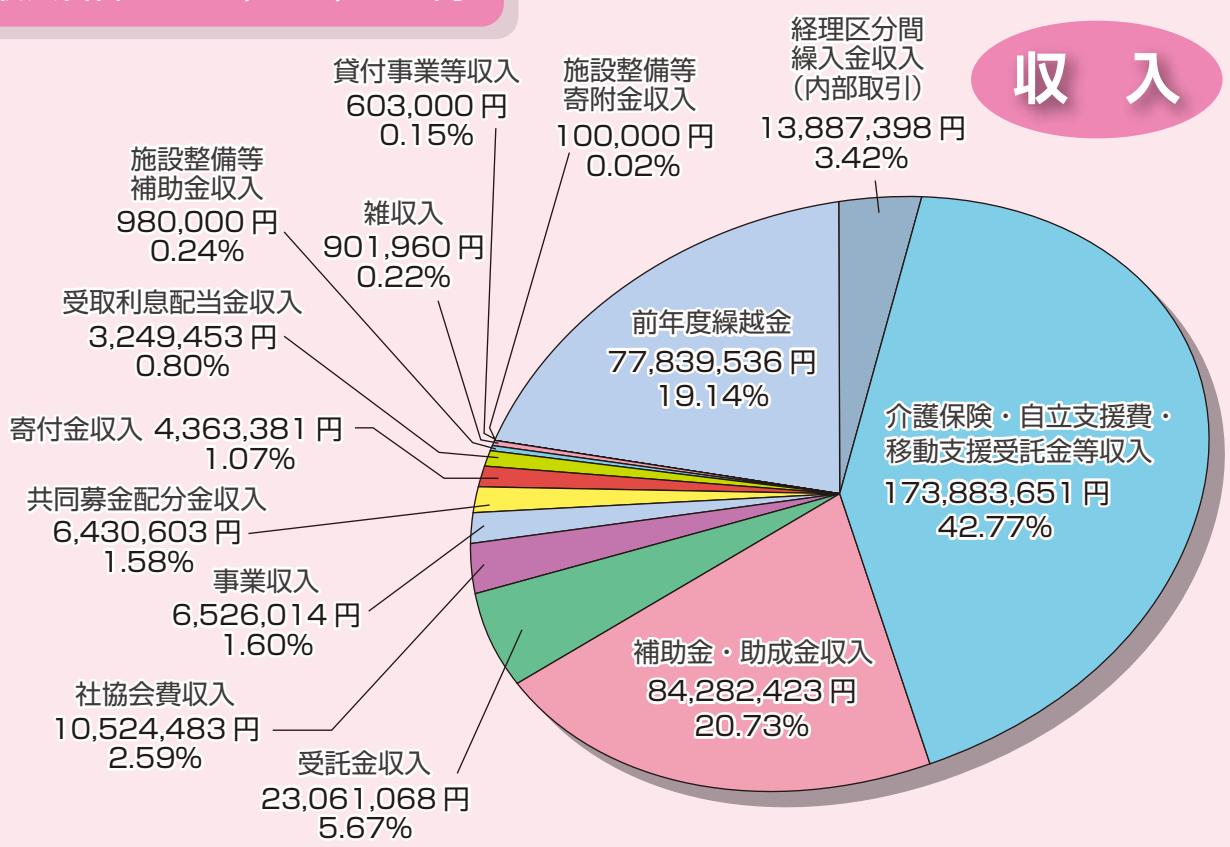
### 地域生活支援係 連絡先 (各保健福祉サービスセンター内)

中部(ちの・米沢・中大塩)	電話:82-0360
西部(宮川・金沢)	電話:82-1328
東部(玉川・豊平・泉野)	電話:82-1521
北部(湖東・北山)	電話:77-3172

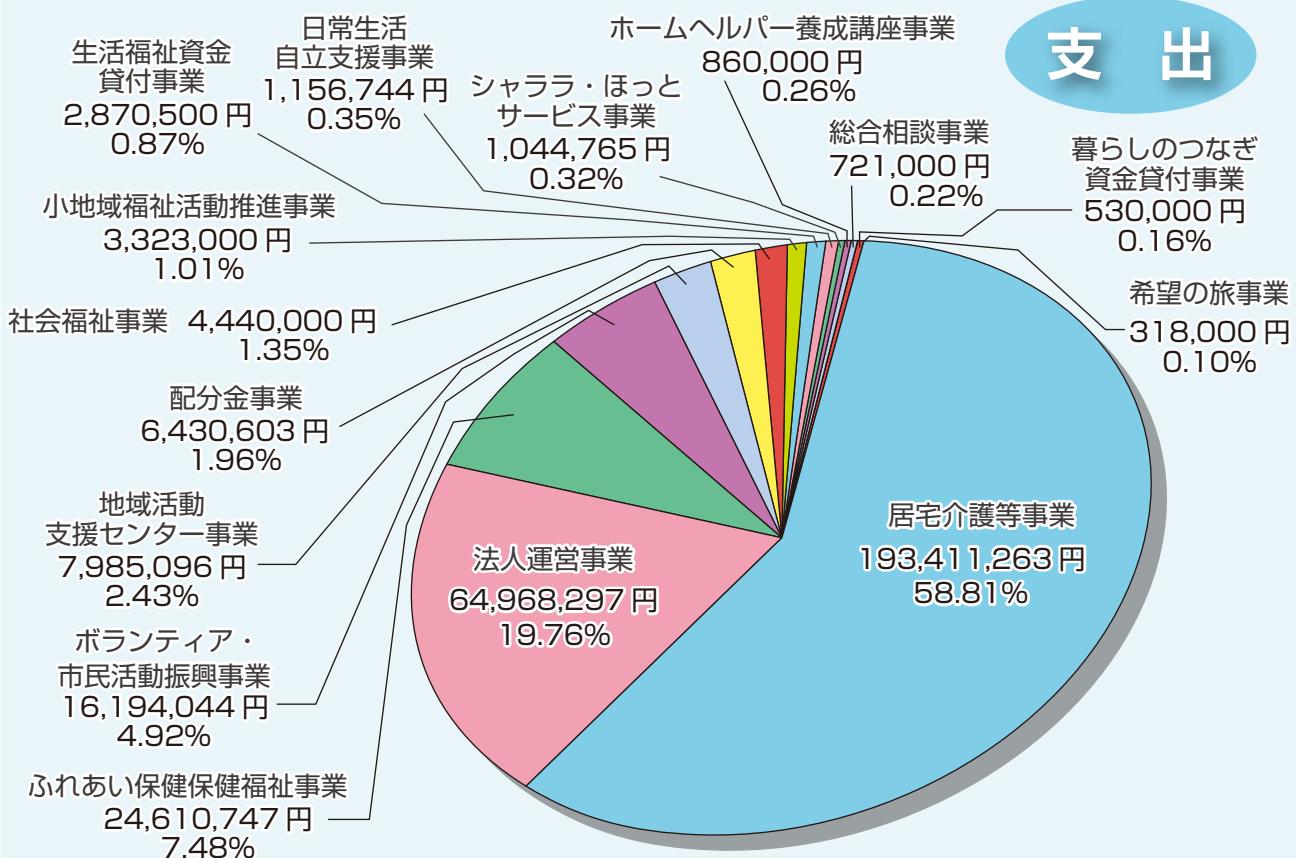
お忙しい中で、福祉推進委員さんとしての役割を果たすということは負担感もあると思います。しかし、これをきっかけにぜひ一度、福祉推進委員としてのアンテナを張り、地域の様子を福祉の視点から眺め、耳を傾ける時間をお持ちいただけたらと思います。この役を通して知ったり、気づく地域の状況の中には、ご自身やご家族の皆さんにとっても他人事ではないものがきっと多くあるはずです。

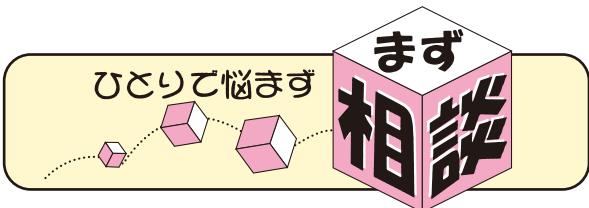
# 平成24年度茅野市社会福祉協議会 決算報告

収入合計 406,632,970 円



支出合計 328,864,059 円





人生には様々な悩みがあります。だれにも相談できない、どこに相談したらよいかわからない。そんなときは、まず社協にお電話ください。

### 心配ごと相談

どんなことでもご相談ください  
(第3金曜日は年金相談もできます。)

毎週金曜日 午前9時～正午

相談員：心配ごと相談員

心の悩み相談には、事前の予約が必要です。

(カウンセラー、精神保健福祉士が対応)

### 結婚相談

結婚を望まれる方の相談窓口

毎月第1・3土曜日

午後1時～午後4時

第2・4金曜日

午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

### 司法書士の法律相談（予約制）

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士 予約電話／73-4431

### あなたと家族の悩み相談～家族のサポートライン～

ご家族を亡くされた方、病気に直面されている方  
ご相談ください

毎月第1月曜日 午後2時～午後4時

相談員：ボランティア

直通電話／82-0400

### 福祉やボランティアの相談

月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時30分

電話／73-4431 FAX／73-8030

相談は、総合福祉センター3階の相談室  
または1階の社協事務所までお越しください

社協情報紙 **やらざあ** Vol.98 2013年7月号

2013年7月1日

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会  
編集／やらざあ編集委員会  
〒391-0002 茅野市塚原2-5-45  
TEL (0266)73-4431  
FAX (0266)73-8030  
URL: <http://sharara.or.jp>  
E-mail : support@sharara.or.jp

社協情報紙 **やらざあ** の発行にはみなさんの会費が使われています。

## 読者の声

・今年はいつまでたっても寒いですね。桜は早かったのにね。でも新緑の若葉、青葉に春を感じ、5月のさわやかな風に元気に泳いでいる鯉のぼりに思わず深呼吸したくなります。

湖東 60代 女性

・毎号「やらざあ」の全ページに美しいカラー写真とともに、多彩な会員の活動が紹介され、思わず残らずに読まれます。

なかでも表紙を飾る運動公園の日本リスの微笑ましい写真には見惚れてしまいます。5年間にわたる橋田さんの毎年200余日という努力の成果。くるみの木の植樹、公園南北を結ぶ通路橋下へのリスの通い道特設などこうした仲間の方々の長年の積み上げによるものと思います。

ちの 80代 男性

・社協会費の納入状況心配になります。任意拠出ではなく、全世界所得に応じて何がしかの会費の徴収のできる方策の研究をお願いしたい。

宮川 80代 男性

今回は  
クイズ

### ものの考え方



日本語のものの考え方(助数詞)は数えるものによって違います。それは昔からの伝統や風習なども伝えているのだそうです。そんな美しい言葉をみんなで大切にしていきたいですね。

というわけで、次の3つの正しい考え方をお答えください。

#### 1) うさぎ

① ぴょん ② 羽 ③ 頭

#### 2) いか

① 足 ② 四 ③ 杯

#### 3) たんす

① 桟 ② 台 ③ 個

### 応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢(年代)電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあの感想、つぶやきなど一言添えて社協までお送りください。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます

応募締め切り 7月末日

当選者 荻原 儀久さん(ちの)・河西 允人さん(宮川)  
牛山 フミ子さん(湖東)

\*前回ご応募いただきました川柳は今後本紙にてご紹介させていただきます。

